

平成30年 関東倶楽部対抗茨城第2会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 18倶楽部 ・ 108名)

期日：5月22日(火)

場所：桜の宮ゴルフ倶楽部 東・西コース

(18ホール・ストロークプレー)

(一社)関東ゴルフ連盟

1番(東コース)よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	五十嵐 恭彦	マナ	村田 三郎	セントラル	橋本 要	ザ・竜ヶ崎		
2	7:39	平山 芳照	ノースショア	出山 泰弘	水戸グリーン	大辻 孝司	宍戸ヒルズ		
3	7:48	神宮 義輝	栗橋国際	平岡 成介	美浦	関 秀勝	玉造	中山 惣司	白帆
4	7:57	金子 陽三	桜の宮	森山 裕	ザ・レイクス	本城 誠	ダイヤグリーン	海老原 克守	ニッソー
5	8:06	早川 和善	桂ヶ丘	藤方 修三	霞台	岡田 謙二	阿見	福島 順信	江戸崎
6	8:15	海老澤 大倫	マナ	野口 信雄	ザ・竜ヶ崎	中村 守	水戸グリーン	森山 保豊	栗橋国際
7	8:24	染谷 文夫	玉造	小谷 正裕	桜の宮	平野 昌浩	ダイヤグリーン	永田 浩二	桂ヶ丘
8	8:33	由井 常道	阿見	池谷 一憲	セントラル	永田 昭二	ノースショア	辺見 和栄	宍戸ヒルズ
9	8:42	山口 茂夫	美浦	西谷 正司	白帆	吉田 裕	ザ・レイクス	伊豆丸 暢	ニッソー
10	8:51	橋谷田 恵二	霞台	松崎 晴雄	江戸崎	染野 光弘	マナ	高橋 康之	ノースショア
11	9:00	忍田 徹夫	栗橋国際	金澤 正幸	白帆	田村 眞	ダイヤグリーン	大井 雅敏	霞台
12	9:09	伊藤 司	セントラル	宇留野 彰	水戸グリーン	山口 公司	美浦	加藤 猛美	桜の宮
13	9:18	寺田 智	ニッソー	今田 善和	阿見	高橋 薫	ザ・竜ヶ崎	長井 隆道	宍戸ヒルズ
14	9:27	松本 宏和	玉造	佐藤 隆一	ザ・レイクス	伊藤 悦孝	桂ヶ丘	鏑木 秀幸	江戸崎

10番(西コース)よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
15	7:30	大越 裕一	マナ	木村 利治	水戸グリーン	木村 仁	玉造		
16	7:39	山下 晃由	ダイヤグリーン	茂貫 太郎	阿見	相内 俊彦	セントラル		
17	7:48	村越 元彰	宍戸ヒルズ	増子 敬	白帆	山田 英憲	ニッソー	藤井 幸博	江戸崎
18	7:57	今井 悟	ザ・竜ヶ崎	富岡 政男	栗橋国際	和田 貴之	桜の宮	吉村 明朗	桂ヶ丘
19	8:06	荒井 龍志	ノースショア	水谷 利之	美浦	柴田 博文	ザ・レイクス	小川 健司	霞台
20	8:15	鈴木 真	霞台	芹澤 陽二郎	宍戸ヒルズ	中村 茂	桜の宮	山本 将史	マナ
21	8:24	小倉 龍	セントラル	赤名 房徳	栗橋国際	鈴木 昇	ザ・レイクス	一瀬 貴志	阿見
22	8:33	海老原 賢	美浦	馬飼野 浩之	ザ・竜ヶ崎	小林 和美	ダイヤグリーン	森下 公則	江戸崎
23	8:42	溝井 献也	ノースショア	塩出 輝雄	玉造	幸田 恭典	ニッソー	平戸 秀幸	水戸グリーン
24	8:51	土子 常夫	白帆	近藤 文浩	桂ヶ丘	大庄司 次彦	マナ	吉高神 佐俊	栗橋国際
25	9:00	宇梶 一	ダイヤグリーン	松川 亘	セントラル	松原 俊郎	美浦	福島 哲司	ニッソー
26	9:09	藤田 正義	桂ヶ丘	岡田 一夫	玉造	堀井 宣弘	ザ・竜ヶ崎	中馬 秀興	ノースショア
27	9:18	大圖 英明	白帆	黒澤 健一	霞台	大澤 信行	水戸グリーン	松川 清	桜の宮
28	9:27	関口 達明	阿見	高橋 和博	宍戸ヒルズ	平田 信二	ザ・レイクス	高橋 誠二	江戸崎

競技委員長 萩原謙二郎

平成 30 年 関東倶楽部対抗茨城第 2 会場予選競技

開催日 : 5 月 22 日(火)

開催コース : 桜の宮ゴルフ倶楽部 東・西コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
3. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
 - (a) 排水溝
 - (b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - (c) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
 - (d) 距離標示用の人工のヤーデージマーク(パッティンググリーン前後左右のものを含む)
5. バンカー内の石
付属規則 I(A)3f を適用する(ゴルフ規則 164 ページ参照)。
6. コースと不可分の部分
 - (a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きつけたり、密着させてあるもの。
 - (b) ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
7. 地面に食い込んでいる球の救済
付属規則 I(A)3a を適用する(ゴルフ規則 160 ページ参照)。
8. ホールとホール間の白杭
ホールとホール間の白杭を結ぶ線を越えていった球は、球が白杭を結ぶ線の向こう側のコース上に止まっている場合でも、アウトオブバウンズの球とする。
9. 防球ネット
防球ネットに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。
10. 指定ドロップ区域
18 番ホールにおいて、球がパッティンググリーン奥のネットを越えた場合、プレーヤーは、罰なしに指定ドロップ区域にその球をドロップすることができる(付属規則 I(A)6 を適用する。ゴルフ規則 173 ページ参照)。なお、指定ドロップ区域は入った区域側のドロップゾーン(DZ)を使用すること。
11. パッティンググリーン上で球が偶然に動かされること
規則 18-2, 20-1 は以下の通りに修正される。
プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーまたはキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーはリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
注: パッティンググリーン上の球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。また、そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースしなければならない。
12. 規則 6-6d 例外の修正
どのホールであっても、プレーヤーがスコアカードを提出する前には罰を受けていたことを知らずに 1 打または複数の罰打を含めなかったために、真実より少ないスコアを提出していた場合、そのプレーヤーは競技失格とはならない。このような状況では、そのプレーヤーは該当する規則に規定されている罰を受けるが、規則 6-6d に違反したことに対する追加の罰はない。該当する罰が競技失格である場合にはこの例外は適用しない。
13. 距離計測器
プレーヤーは距離計測器の使用によって距離の情報を得ることができる。正規のラウンド中にプレーヤーのプレーに影響する可能性のある他の条件(例えば、標高変化、風速など)を計測するために距離計測機器を使用した場合、プレーヤーは規則 14-3 の違反となる。

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については規則 6-8b,c,d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

プレーの即時中断 :	}	カートの無線を通じて伝える。
プレーの中断 :		
プレーの再開 :		

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーのキャディーの使用は禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。なお、プレー形式は共用の乗用カートを使用したセルフプレーとする。

9. スコアカードの提出(裁定 6-6c/1)

スコアリングエリア方式を採用する。

10. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

- 1 台の乗用カートを共用する場合は、そのカート上の全ての物は、球との関連で問題が生じた場合、その球の持ち主であるプレーヤーの携帯品とみなす。ただし、共用しているプレーヤーの 1 人がこれを動かしている時は、そのカートとカート上の全ての物はプレーヤーの携帯品とみなす。
2. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外にもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 競技委員会は規則 33-7 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。
5. J アラート(全国瞬時警戒システム)や緊急速報メール等により緊急情報が伝えられた場合はプレーの即時中断とします(競技の条件 6 項参照)。
6. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 6 箱(144 球)を限度とする。

競技委員長 萩原謙二郎

※別紙距離表

距離表

OUT: 東コース、IN: 西コース

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
Yards(Aクラス)	502	394	145	563	148	284	183	495	397	3111	
Yards(Bクラス)	502	394	145	563	148	284	201	495	397	3129	
Par	5	4	3	5	3	4	3	5	4	36	
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
	435	165	508	401	397	385	135	293	335	3054	6165
	435	165	521	401	397	385	135	293	335	3067	6196
	5	3	5	4	4	4	3	4	4	36	72